

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of
the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- BLURRY OR ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLATED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY DARK BLACK AND WHITE PHOTOS
- UNDECIPHERABLE GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

This Page Blank (uspto)

10/030249 #2

PCT/JPCO/C4755

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

14.07.00

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 4月12日

E-KU

出 願 番 号

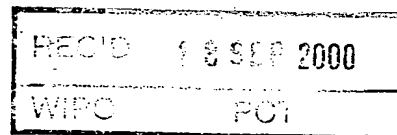
Application Number:

特願2000-110379

出 願 人

Applicant (s):

大王製紙株式会社
エリエールペーパーテック株式会社

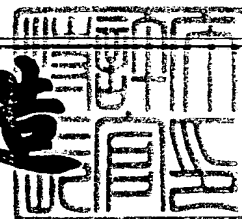


PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2000年 8月18日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3064569

【書類名】 特許願
 【整理番号】 P00-045
 【提出日】 平成12年 4月12日
 【あて先】 特許庁長官殿
 【国際特許分類】 A61F 5/44
 A61F 13/15

【発明者】

【住所又は居所】 栃木県塩谷郡喜連川町大字鷲宿字菅ノ沢 4 7 7 6 - 4
 エリエールペーパーテック株式会社内

【氏名】 奈佐 晴彦

【特許出願人】

【識別番号】 390029148

【住所又は居所】 愛媛県伊予三島市紙屋町 2 番 6 0 号

【氏名又は名称】 大王製紙株式会社

【特許出願人】

【識別番号】 393010754

【住所又は居所】 栃木県塩谷郡喜連川町大字鷲宿字菅ノ沢 4 7 7 6 - 4

【氏名又は名称】 エリエールペーパーテック株式会社

【代理人】

【識別番号】 100082647

【弁理士】

【氏名又は名称】 永井 義久

【電話番号】 03-3241-8848

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 010928

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9722323
【包括委任状番号】 9303173
【プルーフの要否】 要

【書類名】明細書

【発明の名称】使い捨て吸収性物品

【特許請求の範囲】

【請求項 1】少なくとも一方の製品長手方向端部の使用面側において、使用状態において自由起立するウエスト用バリヤーカフスを有する使い捨て吸収性物品において、

前記ウエスト用バリヤーカフスの起立遠位縁近傍に、接触用弾性伸縮部材を有し、前記ウエスト用バリヤーカフスの起立領域内の起立近位縁近傍に、起立用弾性伸縮部材を有する、ことを特徴とする使い捨て吸収性物品。

【請求項 2】少なくとも一方の製品長手方向端部の使用面側において、使用状態において自由起立するウエスト用バリヤーカフスを有する使い捨て吸収性物品において、

前記ウエスト用バリヤーカフスの起立遠位縁近傍に、接触用弾性伸縮部材を有し、前記ウエスト用バリヤーカフスの起立領域内の起立近位縁近傍に、起立用弾性伸縮部材を有する、ウエストフラップ上に実質的にギャザーが入らない、ことを特徴とする使い捨て吸収性物品。

【請求項 3】ウエスト用バリヤーカフスの起立領域の製品長手方向長さが、10mm以上とされる、請求項 1 または 2 記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項 4】接触用弾性伸縮部材の伸縮応力より、起立用弾性伸縮部材の伸縮応力の方が大きい、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項 5】接触用弾性伸縮部材を配置した部分の 20 ～ 90 % 伸長率時の応力（幅 15mm、長さ 100mm あたり）が 0.05 ～ 1.00N であり、起立用弾性伸縮部材を配置した部分の 20 ～ 90 % 伸長率時の応力（幅 15mm、長さ 100mm あたり）が 0.10 ～ 1.50N であり、前記応力は前者より後者の方が大きい、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項 6】ウエスト用バリヤーカフスの固定部の製品長手方向外方端縁が、製品の長手方向端縁より 1 ～ 40mm 内側とされる、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項7】起立遠位縁において折り返して二重としたバリヤーシートの基部が、製品の使用面に対して固定され、この固定部と固定されていない起立領域との境界がウエスト用バリヤーカフスの近位縁とされ、前記バリヤーシート間に接触用弾性伸縮部材及び起立用弾性伸縮部材が伸長下で固定されている、請求項1～6のいずれか1項に記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項8】同種または異種の2枚のシートを重ねた二重のバリヤーシートの基部が、製品の使用面に対して固定され、この固定部と固定されていない起立領域との境界がウエスト用バリヤーカフスの近位縁とされ、前記バリヤーシート間に接触用弾性伸縮部材及び起立用弾性伸縮部材が伸長下で固定されている、請求項1～6のいずれか1項に記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項9】二重のバリヤーシートの間に、防水性シートを挟んだ、請求項7または8記載の使い捨て吸収性物品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、止着テープ型の使い捨ておむつ、あるいは、生理用ナプキン等の使い捨て吸収性物品に関し、特に好適には、吸収パッド型使い捨て紙おむつを重ねて併用する形式の使い捨ておむつに適用することができる。

【0002】

【従来の技術】

従来から、使い捨て紙おむつ、生理用ナプキン等の使い捨て吸収性物品は、使用者の脚周りに防漏ギャザー、立体ギャザー、二重カフス等の防漏手段を備えたものが使用されている。ただ、この種の防漏手段では、使用者の背部、腹部からの漏れを防止できないため、近年では、特開平3-195556号公報が開示するような、使用者のウエスト部にも防漏ギャザー、立体ギャザー、二重カフス等の防漏手段を備えたものが使用されている。

そして、また、この種の防漏手段を備えた使い捨て紙おむつ等においても、体液の量が多く、より大きな吸収力を必要とする場合、特に、大人用のおむつとして使用する場合は、吸収性、経済性の観点から、吸収体の上にさらに補助的に、

パッド型おむつを重ねて使用する利用がなされている。なお、以下において断りのない限り、紙おむつの本体の使用面側に重ねる吸収パッドやパッド型おむつを「補助パッド」という。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、着用時において製品紙おむつ本体の使用面に補助パッドを重ねる場合、重ねる補助パッドの吸収体の厚みが加わり、また紙おむつ本体の吸収体に対して補助パッドの吸収体が二重になることが原因で全体としての剛性が高まることにより、ウエスト用バリヤーカフスの自由変形が阻害され、ウエスト用バリヤーカフスの起立幅をいくら大きくしても、肌に密着し難くその機能を十分に発揮しないことが知見された。

【0004】

もっとも、ギャザーの伸縮力を強くすることにより肌への密着性を担保することが想定されるが、必要以上の収縮力は着用者に圧迫感を感じさせ、装着感が著しく劣るものとなるとの問題がある。また、ウエストフラップ部にギャザーを設けると、製品が幅方向に収縮することになるため、製品の中心がわかりづらくなる。このことは、装着ずれを生じさせ、結果、製品の機能を十分発揮することができない原因ともなる。

【0005】

そこで、本発明の主たる課題は、単独で用いても、補助パッドを重ねて用いても、ウエスト部の漏れ防止効果が高く、しかも、装着感に優れる使い捨て吸収性物品を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決した本発明は次記のとおりである。

＜請求項1記載の発明＞

少なくとも一方の製品長手方向端部の使用面側において、使用状態において自由起立するウエスト用バリヤーカフスを有する使い捨て吸収性物品において、前記ウエスト用バリヤーカフスの起立遠位縁近傍に、接触用弾性伸縮部材を有

し、前記ウエスト用バリヤーカフスの起立領域内の起立近位縁近傍に、起立用弾性伸縮部材を有する、ことを特徴とする使い捨て吸収性物品。

【 0 0 0 7 】

＜請求項 2 記載の発明＞

少なくとも一方の製品長手方向端部の使用面側において、使用状態において自由起立するウエスト用バリヤーカフスを有する使い捨て吸収性物品において、

前記ウエスト用バリヤーカフスの起立遠位縁近傍に、接触用弾性伸縮部材を有し、前記ウエスト用バリヤーカフスの起立領域内の起立近位縁近傍に、起立用弾性伸縮部材を有する、ウエストフラップ上に実質的にギャザーが入らないことを特徴とする使い捨て吸収性物品。

【 0 0 0 8 】

＜請求項 3 記載の発明＞

ウエスト用バリヤーカフスの起立領域の製品長手方向長さが、10mm以上とされる、請求項 1 または 2 記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 0 9 】

＜請求項 4 記載の発明＞

接触用弾性伸縮部材の伸縮応力より、起立用弾性伸縮部材の伸縮応力の方が大きい、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 0 】

＜請求項 5 記載の発明＞

接触用弾性伸縮部材を配置した部分の 20 ～ 90 % 伸長率時の応力（幅 15 mm、長さ 100 mm あたり）が 0.05 ～ 1.00 N であり、起立用弾性伸縮部材を配置した部分の 20 ～ 90 % 伸長率時の応力（幅 15 mm、長さ 100 mm あたり）が 0.10 ～ 1.50 N であり、前記応力は前者より後者の方が大きい、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 1 】

（請求項 1 ～ 5 の作用効果）

請求項 1 ～ 5 の作用効果については、実施の形態とともに説明した方が明瞭になると思われるので、後述する。

【 0 0 1 2 】

＜請求項 6 記載の発明＞

ウエスト用バリヤーカフスの固定部の製品長手方向外方端縁が、製品の長手方向端縁より 1 ～ 4 0 m m 内側とされる、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 3 】

(作用効果)

ウエスト用バリヤーカフスの固定部の製品長手方向外方端縁を製品の長手方向端縁に沿うようにすると、この端縁は、シートの重なりが多くなり、しかも、接着剤を有することで硬くなるので、使用者の肌を傷つける虞がある。しかし、本発明では、図 4 及び図 5 で示すように、製品の長手方向端縁 E 7 より 1 ～ 4 0 m m 内側の E 3 に沿うようにしたので、以上のような虞がない。

【 0 0 1 4 】

＜請求項 7 記載の発明＞

起立遠位縁において折り返して二重としたバリヤーシートの基部が、製品の使用面に対して固定され、この固定部と固定されていない起立領域との境界がウエスト用バリヤーカフスの近位縁とされ、前記バリヤーシート間に接触用弾性伸縮部材及び起立用弾性伸縮部材が伸長下で固定されている、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 5 】

＜請求項 8 記載の発明＞

同種または異種の 2 枚のシートを重ねた二重のバリヤーシートの基部が、製品の使用面に対して固定され、この固定部と固定されていない起立領域との境界がウエスト用バリヤーカフスの近位縁とされ、前記バリヤーシート間に接触用弾性伸縮部材及び起立用弾性伸縮部材が伸長下で固定されている、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 6 】

(請求項 7 及び 8 の作用効果)

バリヤーシートを二重とすることにより、防漏性が高まるばかりでなく、特に

ウエスト用バリヤーカフスとしての形状保持性が良好となり、着用中においてめくれなどによる漏れ防止効果が高いものとなる。

【 0 0 1 7 】

＜請求項 9 記載の発明＞

二重のバリヤーシートの中に、防水性シートを挟んだ、請求項 7 または 8 記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 8 】

（作用効果）

この作用効果は、後述する。

【 0 0 1 9 】

【発明の実施の形態】

以下本発明を、図面に示す実施の形態によってさらに詳説する。なお、本発明の使い捨て吸収性物品としては、紙おむつのほか、ナプキンなどにも適用が可能であるが、以下においてはテープ式の特に大人用の補助パッド併用型使い捨て紙おむつのみについて説明し、ナプキンなどへの適用例は省略する。

【 0 0 2 0 】

図 1 及び図 2 に示す紙おむつでは、不織布や多孔フィルムなどからなる長方形などの形状の透液性表面シート 1 とポリエチレンやポリラミ不織布、マイクロボイドを形成して蒸気は透過するが液は透過させない形態等からなる砂時計形状の不透液性裏面シート 2 との間に、綿状パルプ等からなる、たとえば長方形や砂時計形状など適宜形状のある程度剛性を有する吸収体 3 が介在されている。この吸収体 3 には高分子吸収性ポリマーを添加できる。吸収体 3 は吸収用の上下ティッシュペーパー 3 A、3 B で被覆することができ、吸収要素を構成している。

【 0 0 2 1 】

透液性表面シート 1 は、吸収要素 3 より幅広の長方形をなし、吸収要素 3 の側縁より若干外方に延在し、不透液性裏面シート 2 とホットメルト接着剤などにより固着されている。また、透液性表面シート 1 は、吸収要素 3 の長手方向端縁より外方に延在し、不透液性裏面シート 2 とホットメルト接着剤などにより固着され、ウエストフラップ F を形成している。なお、断面図における * は、ホットメ

ルト接着剤等による固着を示す。

【 0 0 2 2 】

紙おむつの両側部には、図 3 でも示すような、使用面側に突出して自由起立する脚周り用バリヤーカフス B が形成され、このバリヤーカフス B は、実質的に幅方向に連続したバリヤーシート 4 と、適宜数の実施の形態では 2 本の接触用弾性伸縮部材 5 A, 5 A、及び適宜数の実施の形態では 3 本の起立用弾性伸縮部材 5 B, 5 B, 5 B とにより構成されている。これらの弾性伸縮部材は、例えば、糸ゴムや帯状ゴムなどにより構成できる。

【 0 0 2 3 】

また、紙おむつの背側部には、図 2 及び図 4 でも示すような、使用面側に突出して自由起立するウエスト用バリヤーカフス W が形成され、このバリヤーカフス W は、バリヤーシート 6 と、適宜数の実施の形態では 2 本の接触用弾性伸縮部材 7 A, 7 A、及び適宜数の実施の形態では 3 本の起立用弾性伸縮部材 7 B, 7 B, 7 B とにより構成されている。これらの弾性伸縮部材も、例えば、糸ゴムや帯状ゴムなどにより構成できる。本実施の形態では、背側のみにバリヤーカフス W を形成しているが、腹側にも形成することができる。なお、バリヤーカフス W の両側方にある長方形の部材 8 は止着テープである。

【 0 0 2 4 】

バリヤーカフス W は、バリヤーシート 6 を内折りして二重に形成され、接触用弾性伸縮部材 7 A, 7 A、及び起立用弾性伸縮部材 7 B, 7 B, 7 B をホットメルト接着剤などにより固着した状態で包んでいる。実施の形態では、折り目が遠位縁 E 1 及び製品長手方向外方端縁 E 3 を構成している。そして、バリヤーシート 6 の長手方向両端部は、起立用弾性伸縮部材 7 B, 7 B, 7 B の近傍で重ね合わせ、バリヤーシート 6 を 2 重に形成している（この重ね合わせについては、図示していない。）。

【 0 0 2 5 】

二重のバリヤーシート 6 の、内層の長手方向外方部分は、透液性表面シート 1 の製品長手方向端部に、ホットメルト接着剤などにより固着されている。実施の形態では、透液性表面シート 1 を吸収体 3 の長手方向端縁より外方に延在させウ

エストフラップFとし、このウエストフラップFに固着させている。その結果、図5でも示すように、ウエスト用バリヤーカフスWの近位縁E2は、ウエストフラップF上に位置することになり、この近位縁E2より内側は、製品本体に固着されていない自由に起立する起立領域Zとなる。この起立領域Zの製品長手方向の長さLは10mm、特に紙おむつの場合には30～80mmとするのが望ましい。

【0026】

また、バリヤーカフスWの固着は、バリヤーシート6の製品長手方向端縁E3が、ウエストフラップFの製品長手方向端縁E7より適宜、実施の形態では、1～40mm製品長手方向内方に位置するように行われている。

【0027】

他方、二重のバリヤーシート6の、内層の幅方向端部は、製品の使用面側に対して、実施の形態では、図5にも示すように、バリヤーカフスBの近位縁E4より幅方向外方で、透液性表面シート1にホットメルト接着剤により固定されている。なお、図5では、網点で、バリヤーシート6と透液性表面シート1とのホットメルト接着剤による固着部分をHTとして示してある。また、二重のバリヤーシート6の、外層の幅方向端部は、バリヤーカフスBに備わる接触用弾性伸縮部材5A、5Aのうち幅方向外方のものが位置する固着ラインE5より幅方向外方で、かつ、バリヤーカフスWに備わる接触用弾性伸縮部材7A、7Aのうち製品長手向外方のものが位置する固着ラインE6より製品長手方向外方で、バリヤーシート4にホットメルト接着剤により固定されている。なお、図5では、バリヤーカフスWの起立領域Zのうち、バリヤーシート4とホットメルト接着剤で固着する部分をHBとして示してある。

【0028】

以上の関係の下で、バリヤーカフスWの起立遠位縁E1近傍に接触用弾性伸縮部材7A、7Aが配置され、バリヤーカフスWの起立領域Z内の起立近位縁E2近傍に起立用弾性伸縮部材7B、7B、7Bが配置されている。したがって、各弾性伸縮部材7A、…及び7B…の収縮力によりバリヤーカフスWが起立することになる。また、起立用弾性伸縮部材7B、7B、7Bによって、バリヤーカフ

スWにギャザーが形成されるので、ウエストフラップFにギャザーを形成しないことができる。ウエストフラップFにギャザーを形成しなければ、製品の幅方向への伸縮がなくなり、製品の中心がわかりやすくなる。つまり、装着ずれを防ぐことができ、結果、製品の機能を十分発揮することができる。

【 0 0 2 9 】

ところで、図4の上段に示すように、ウエスト用バリヤーカフスWは、幅方向側縁側の4B部（図1参照。）において、バリヤーカフスBにより製品に向かって押し付けられることになり、遠位縁E1の起立高が小さい。これに対して、幅方向中央側の4A部（図1参照。）では、バリヤーカフスBによる押し付けがないため、起立用弾性伸縮部材7B、7B、7BによりバリヤーカフスWが高く起立しようとする。しかるに、4B部においてバリヤーカフスWの遠位縁E1の起立高が小さいので、4A部におけるバリヤーカフスWの遠位縁E1に対して、押さえ付けるように作用し、その結果、図4の下段に示すように、バリヤーカフスWは、その高さ方向中間部を外方に膨らませながら起立するようになる。これにより、バリヤーカフスWのポケットが形成され、補助パッド10の包み込みも確実なものとなる。とともに、ウエストフラップFを変形させ持ち上げ、また若干吸収体3も変形させつつ持ち上げるので、ポケット空間はより深いものとなる。

【 0 0 3 0 】

しかも、この持ち上げ状態で、起立用弾性伸縮部材7B、7B、7Bの強い収縮力がバリヤーカフスW自体に作用するから、バリヤーカフスWがほぼ垂直に起立するように作用する。同時に、接触用弾性伸縮部材7A、7Aは弱いながらその収縮力によりバリヤーカフスWを起立させる。しかるに、接触用弾性伸縮部材7A、7Aの収縮力は弱いとしても、起立用弾性伸縮部材7B、7B、7BによるバリヤーカフスWの起立力が大きいので、全体としてバリヤーカフスWの起立が確実に確保される。そして、接触用弾性伸縮部材7A、7Aの収縮力は強くないので、着用者の肌への過度の圧接がない。

【 0 0 3 1 】

このように、バリヤーカフスWの起立が確実に確保されるので、図6で示すように、補助パッド10を使用面側に重ねて配設したとしても、バリヤーカフスW

の起立が確保され、これが寝たり反り返ったりすることがなく、補助パッド10を確実に包み込むことができる。

【0032】

ところで、脚周り用バリヤーシート4及びウエスト用バリヤーシート6の材料としては、通気性及び液不透過性のプラスチックフィルムやシリコン処理などによる撥水性の不織布を利用できる。また、図7にバリヤーカフスWの場合を例として示すように、液の透過を確実に防止するために、撥水性の不織布または撥水性を有しない不織布にプラスチックフィルム等からなる防水性シート7Cを介在させるとよい。好ましい不織布としてはメルトブローン方式で製造したポリプロピレン不織布がより好適である。坪量として $5 \sim 30 \text{ g/m}^2$ の厚さのシートを袋とじしたような形態に接着し、袋状の端縁を自由端とする。弾性伸縮部材としては、天然ゴム、合成ゴム、ポリウレタン等からなる糸状体複数本として、または帯状体とすることができる。実施の形態では、7B, 7B, 7Bの強い収縮力がバリヤーカフスW自体に作用するから、バリヤーカフスWがほぼ垂直に起立するように作用する。接触用弾性伸縮部材7Aとして560デニールウレタン糸2本を200%伸長状態で、製品幅方向に250mmに渡って設置し、起立用弾性伸縮部材7Bとして560デニールウレタン糸3本を約5mm間隔で200%伸長状態で、製品幅方向に250mmに渡って設置した。

【0033】

テープ式おむつで装着時、バリヤーカフスWにおける接触用弾性伸縮部材7Aを配置した部分及び起立用弾性伸縮部材7Bを配置した部分の伸長率は、それぞれ最大60%、好ましくは、40~50%とされる。実施の形態では、50%とした。また、伸縮率を20~90%とした時の伸長応力は、接触用弾性伸縮部材7Aが0.05~1Nであり、起立用弾性伸縮部材7Bが0.10~1.50Nであれば、着用者は圧迫感を感じることなくまたウエスト周囲部に隙間を生じることがなく、優れた漏れ防止性能を発揮することができる。

【0034】

【発明の効果】

以上の通り、本発明によれば、単独で用いても、補助パッドを重ねて用いても

、ウエスト部の漏れ防止効果が高く、しかも、装着感に優れたものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

使い捨て紙おむつの一部破断平面図である。

【図 2】

4 A - 4 A 線矢視図である。

【図 3】

2 - 2 線矢視図である。

【図 4】

4 A - 4 A 及び 4 B - 4 B 線矢視図である。

【図 5】

ウエスト用バリヤーカフスの固着状態を示した拡大図である。

【図 6】

補助パッドの配設形態の横断面図である。

【図 7】

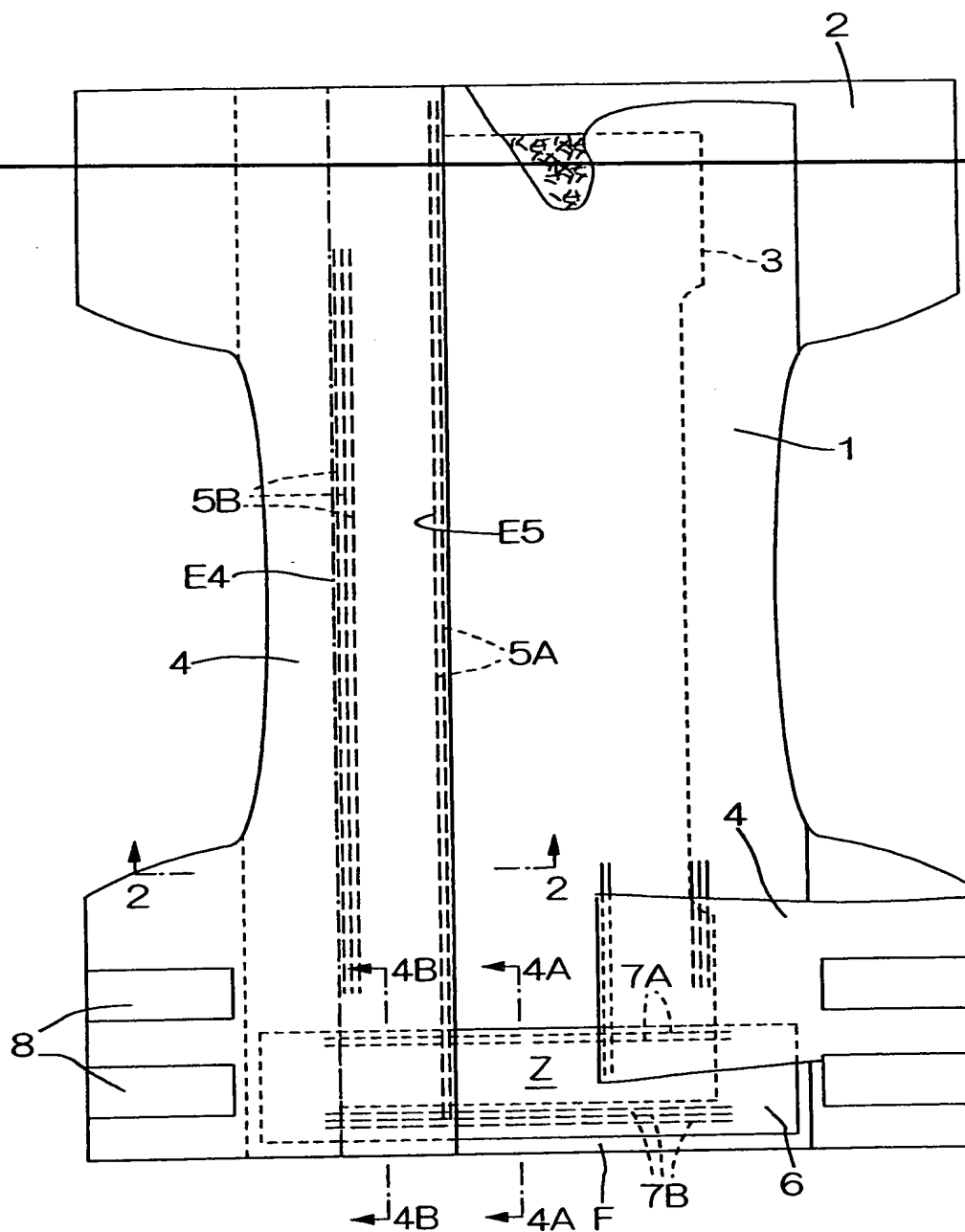
他の実施の形態の横断面図である。

【符号の説明】

1 …透液性表面シート、2 …不透液性裏面シート、3 …吸収体、4 …脚周り用バリヤーシート、5 A …接触用弾性伸縮部材、5 B …起立用弾性伸縮部材、6 …ウエスト用バリヤーシート、7 A …接触用弾性伸縮部材、7 B …起立用弾性伸縮部材、8 …止着テープ、B …脚周り用バリヤーカフス、E 1 …遠位縁、E 2 …近位縁、E 3、E 7 …長手方向外方端縁、E 4 …近位縁、E 5、E 6 …固着ライン、F …ウエストフラップ、H T、H B …固着部位、W …ウエスト用バリヤーカフス、Z …起立領域。

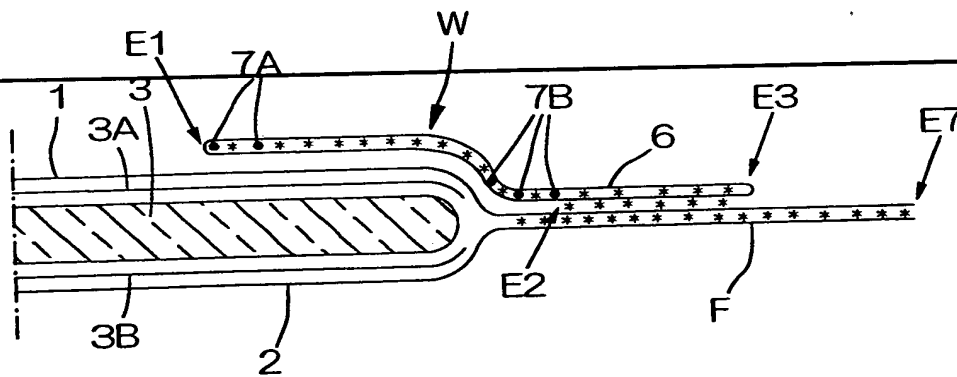
【書類名】図面

【図1】

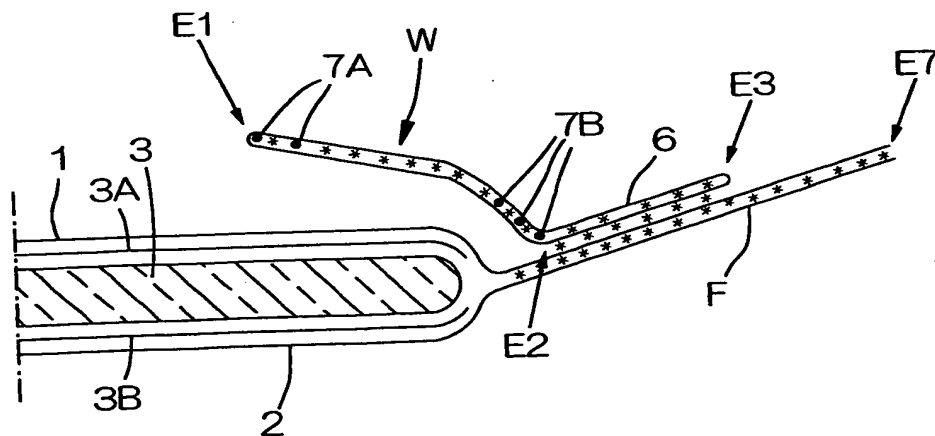
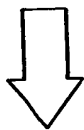


【図2】

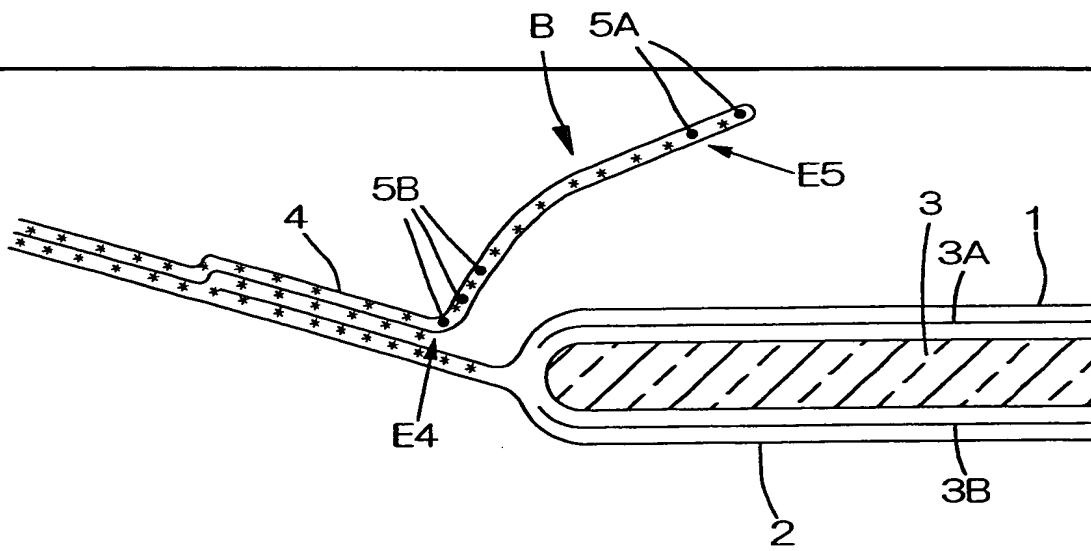
伸長時



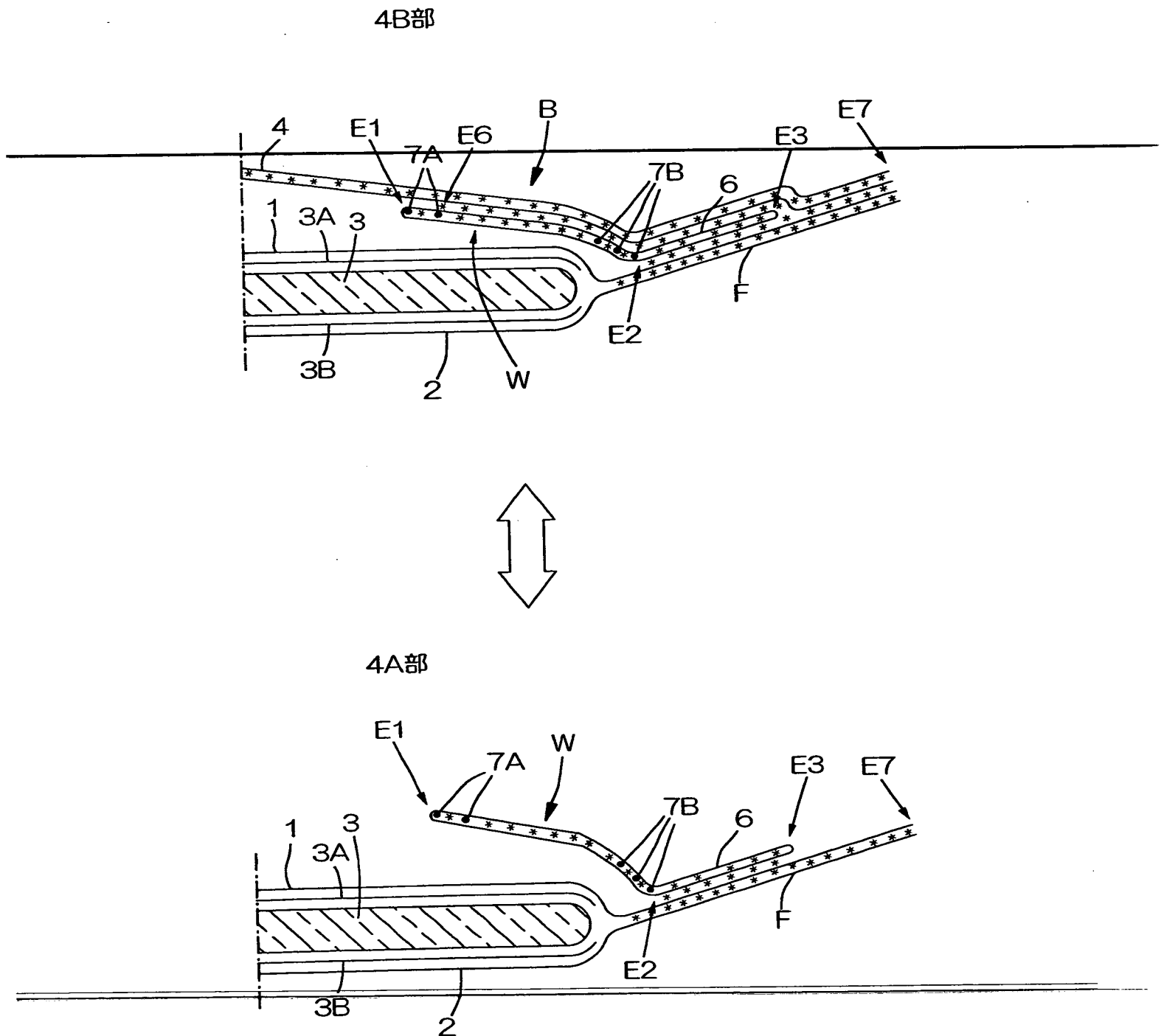
装着時



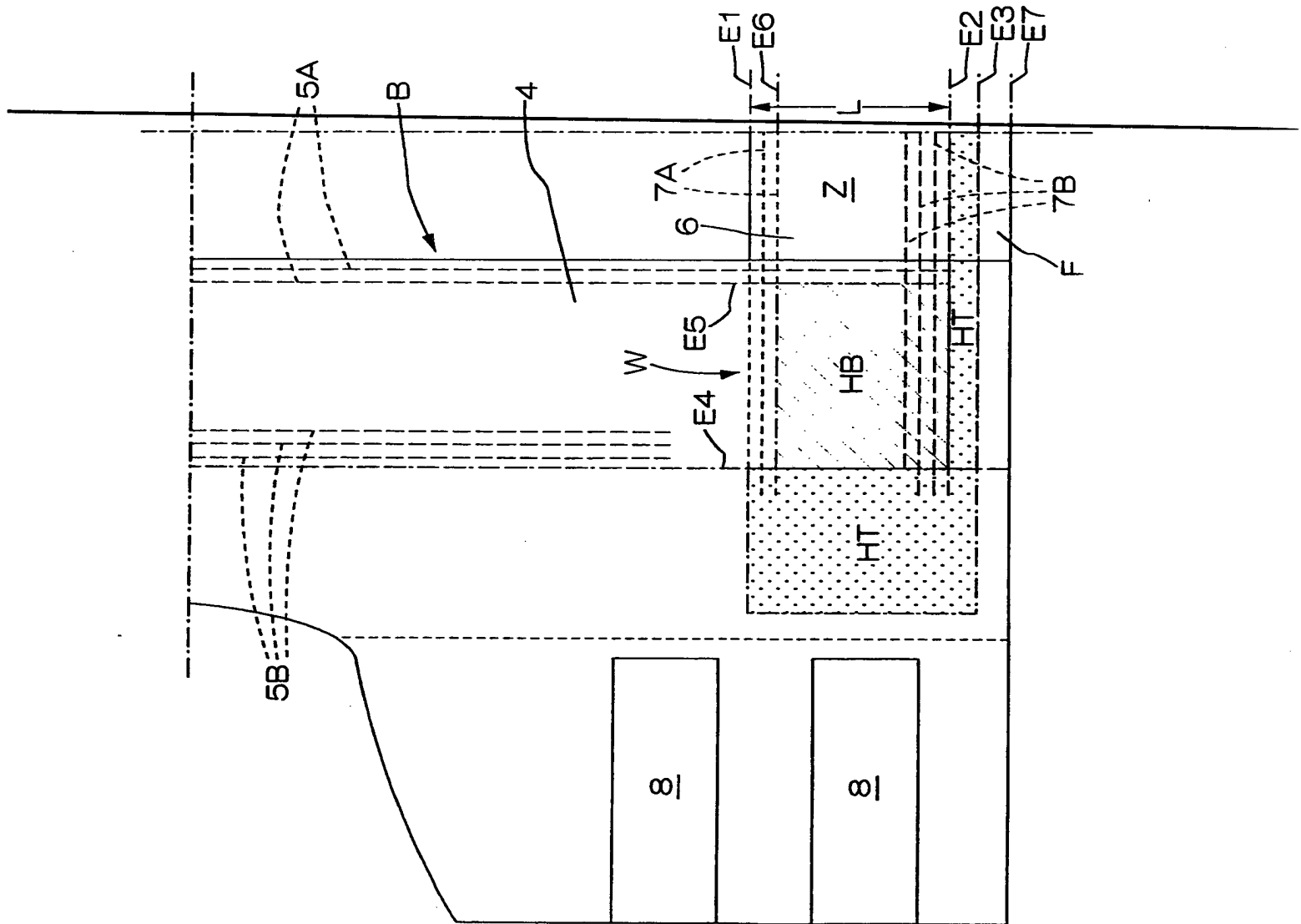
【図 3】



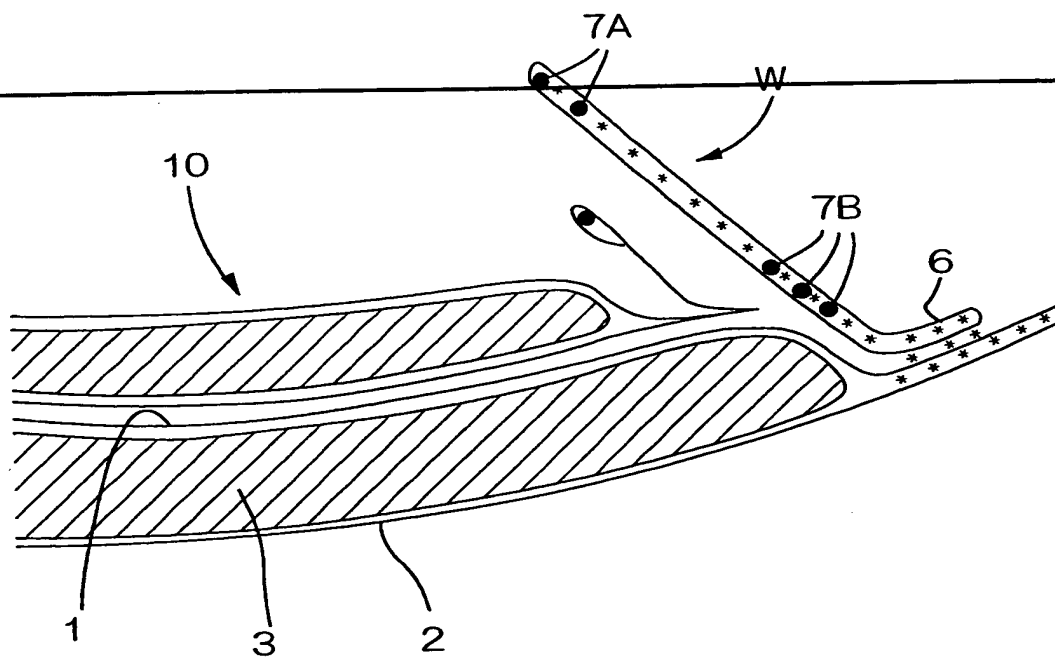
【図 4】



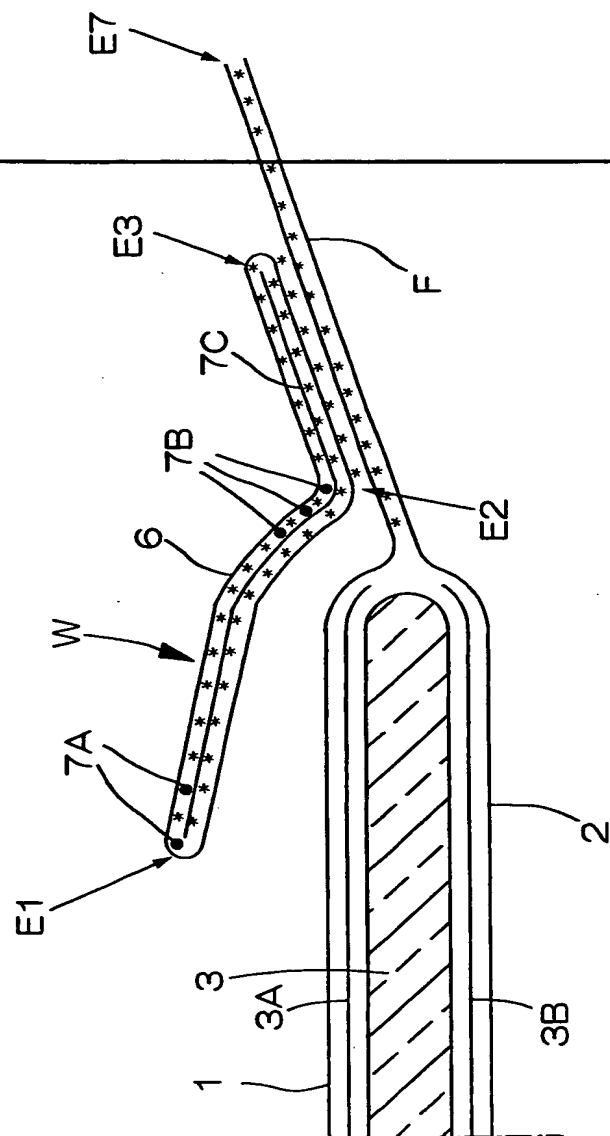
【図5】



【図6】



【図 7】



【書類名】要約書

【要約】

【課題】単独で用いても、補助パッドを重ねて用いても、ウエスト部の漏れ防止効果が高く、しかも、装着感に優れたものとする。

【解決手段】ウエスト用バリヤーカフスWの起立遠位縁E 1 近傍に接触用弾性伸縮部材7 Aを有し、前記ウエスト用バリヤーカフスWの起立領域Z内の起立近位縁E 2 近傍に起立用弾性伸縮部材7 Bを有する。

【選択図】図5

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-110379
受付番号	50000461475
書類名	特許願
担当官	寺内 文男 7068
作成日	平成12年 4月18日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	390029148
【住所又は居所】	愛媛県伊予三島市紙屋町2番60号
【氏名又は名称】	大王製紙株式会社

【特許出願人】

【識別番号】	393010754
【住所又は居所】	栃木県塩谷郡喜連川町大字鷲宿字菅ノ沢4776 番地4

【氏名又は名称】	エリエールペーパーテック株式会社
----------	------------------

【代理人】

申請人	
【識別番号】	100082647
【住所又は居所】	東京都中央区日本橋本町4丁目3番4号 東海日 本橋ビル4階 永井国際特許事務所
【氏名又は名称】	永井 義久

特2000-11037

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[390029148]

1. 変更年月日	1990年11月27日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛媛県伊予三島市紙屋町2番60号
氏 名	大王製紙株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[393010754]

1. 変更年月日 1993年 4月13日

[変更理由] 新規登録

住 所 栃木県塩谷郡喜連川町大字鷲宿字菅ノ沢4776番地4

氏 名 エリエールペーパーテック株式会社

THIS PAGE BLANK (USPTO)